

森林官からのあたり

福島森林管理署 白河支署 西郷森林事務所 森林官 大田 和行



雄大にそびえる甲子連山

私の勤務する西郷森林事務所は、福島県南部の白河市内（白河支署内）に所在し、東北地方で第2位の長さを誇る阿武隈川、その源流が流れる西郷村を中心とする国有林約5,200㍍を管理しています。

管理している国有林は地域によって特徴があり、西郷村北東部ではスギ・ヒノキ等の人工林が多く、一方、西部では日光国立公園や大川羽鳥県立自然公園といった指定地域があり、ブナなどの天然林が広く分布しています。

管内には自然豊かな山々があり、特に栃木県境には甲子山や旭岳といった標高1,500㍍を超える山が、甲子連山を形成しています。これらの山は登山道が整備され、地元山岳会が永きに亘って活動しており、毎年多くの登山者が訪れています。



大勢で賑わうトンネルフリーウォーク

阿武隈川源流沿いには、福島の遊歩道50選の一つである新甲子遊歩道があり、渓流を望みながら、春の新緑や秋の紅葉など自然を堪能することができます。また、途中には、「森の巨人たち百選」の一つとなっている「剣桂（けんかつら）」の大木があります。樹齢約370年、樹高約35mの雄大な姿を誇るこの木の名は、かつて出没する鬼神を剣をもって大木に封じた事に由来すると言われ、神の依り代として祀られています。

西郷村には、昨年9月に栃木県へ抜ける有料道路が無料化され、県内2位の長さとなる甲子トンネルが開通して、福島県の会津地方と直接行き来できるようになりました。開通前には記念事業のトンネルフリーウォークに3,000人以上の人が集まり賑わいを見せました。

管内には登山などの入林者が多いことから、遭難対策として、毎年夏と冬に消防や警察等と連携して遭難救助訓練が行われます。参加し感じたのは救助の困難さでした。救助へりは着陸場所が限られるうえ、濃霧時には飛行自体困難となります。負傷者の下山には5～6人がかりでも苦心します。地元山岳会の方の「救助は困難な場合も多い。だからこそ遭難・負傷を防ぐため、何より登山前の準備が大切だ。」という言葉が最も大切な事ではないかと感じました。

森林官は、地元との窓口であり、同時に守るべき国有林を最も身近に感じられる業務だと思います。これから先職務が変わっても、守るべき国有林の姿を決して忘れないように、日々の業務に取り組んでいきたいと思っています。



樹齢約370年の剣桂（けんかつら）